

世界

綿花見通

綿花価格高騰を受け作付面積拡大へ---2011/12

国際綿花諮問委員会（ICAC）によると、2011/12年度の世界の綿花作付面積は前年度比7%拡大し3,600万畝となる見込み。これは過去17年で最高で、記録的高値を更新中の綿花価格（2010/11年度）を受けたものである。2011/12年度は綿花生産国すべてにおいて作付面積が拡大する見通しで、世界の綿花生産は同9%増の2,700万トンの見通しである。

2011/12年度は、拡大する綿花需要に対応するため、生産量が増加する見通しである。綿花価格は現在の記録的レベルからは下降すると見られているものの、ポンド当たり60¢という過去10年の平均価格からかけ離れ、高値のまま推移する見込み。2011/12年度のミル消費量は、高騰する価格や化学繊維との競合により制限されると見られ、3%増の2,540万トンの見込み。ミル消費の最大の増加が見込まれている国は、インド、中国、パキスタン、トルコである。

世界の綿花価格は2011年2月に史上最高値を更新した。世界的な在庫の引き締め、限られた供給量、堅調な需要、そしてドル安が価格上昇の背景にある。2011年に入ってから不安定な供給は、価格の強い上げ圧力となり、今後さらなる不安定をもたらす可能性がある。2011年2月18日付のCotlook Aインデックスはポンド当たり233.5¢と高値を更新し、2010/11年度の期初よりの7ヶ月の平均価格は147¢となった（前年同期77.5¢）。2011年3月出荷のニューヨーク定期は、2011年2月28日には205¢の高値を記録した（2010年8月2日は77¢）。綿花を取り巻く環境は依然不安定な状態が続いており、ICAC価格モデルでは予測が難しいのが現状である。2010/11年度のCotlook Aインデックスは平均で161¢となる見通しだが、この見通しは、ICAC価格モデルによる試算ではなく、2010/11年度最初7ヶ月の平均価格及び、下半期も2011年初頭の価格を保つであろうとの予測からなるものである。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2009/10	2010/11	2011/12
生産	21.8	24.9	27.4
消費	24.6	24.7	25.4
輸出	7.8	8.4	8.6

期末在庫	8.9	9.1	11.2
価格*	77.54*	161	

*Cotlook A インデックス (円/ポンド)

中国

炭素繊維

宏特煤化工、ピッチ系炭素繊維工場を建設へ

山西宏特煤化工有限公司は 10 億元を投じて、年産 5,000 トン規模の石炭ピッチ系炭素繊維工場を山西省の交城経済開発区に建設する。2011 年 7 月に完成予定。完成後は年間約 15 億元の生産規模が見込まれている。これにより同社は、石炭化学工業での主導的地位をさらに強固にするほか、現在全量を輸入に依存しているピッチ系炭素繊維の国産化が進展することになる。

山西宏特煤化工は国内頂尖研究機構と協力して、石炭ピッチ系炭素繊維の開発を進めており、北京化工大学炭素繊維開発研究所とも連携している模様である。

ピッチ系炭素繊維は軽量・高剛性、高い熱伝導率、熱変形がないといった特性を活かし、ロボットハンド、工業用ロール、パンタグラフ部品、カーボンブレーキ、人工衛星部材、高温炉向け断熱材などで使用されている。

ピッチ系炭素繊維メーカーは 6 社で、うち 4 社が日本メーカーである。

ピッチ系炭素繊維の企業別生産能力

(トン/年)

メーカー	工場	能力
三菱樹脂	香川	1000
日本グラファイトアイバー	兵庫	180
Cytec Engineered Materials	米国	230
クレハ	福島	1450
大阪ガスケミカル	大阪	600
鞍山塞諾達炭素繊維	中国	200*

(出所) 第 24 回複合材料セミナー資料より

*HP 情報

インド

綿花

CAB、綿花収穫高予測を 5%下方修正

Cotton Advisory Board (CAB) は、綿花の収穫予測を発表。前回 (1 月 6 日) 予測の 3,290 万俵 (1 俵 = 170kg) から 3,120 万俵へと 5%下方修正した。

今回下方修正したのは、Central Zone が前回の 2,130 万俵から 2,010 万俵、また Maharashtra 州は前回の 920 万俵から 820 万俵へと最大の下げ幅となったことによるところが大きい。

この結果、在庫は 275 万俵まで落ち込むと見られ、この水準は繊維省が定めた基準に対し 125 万俵の不足となる。